

令和7年度 北海道徳別高等学校 教職員自己評価

評価点 4：十分できている 3：概ねできている 2：やや不十分 1：不十分

項目	今年度の目標	目標達成のための評価の観点	R7観点別平均	R7項目平均	R6観点別平均	R6項目平均
学習指導	1 授業規律の確立と信頼関係の構築を基盤とした学習指導の実施 2 学力の3要素を育成する授業づくりの実践 3 学びのロードマップや授業評価等の活用による学習意欲の喚起 4 新学習指導要領を踏まえた授業改善の推進(探究活動・ICT活用)	1 学習量の確保、知識の定着、学びに向かう態度の育成とともに学びの質を高める授業づくりを実施できたか	3.3	3.3	3.1	3.1
		2 思考の活性化や学びの過程を重視した教科指導法や授業づくりを実践することができたか	3.4		3.1	
		3 毎時の学習課題(目標)の提示や振り返り等により学習意欲の喚起を図ることができたか	3.1		2.8	
		4 思考力・判断力・表現力の育成に向けた取組について工夫・改善を図ることができたか生徒一人ひとりの学習状況を把握したか	3.5		3.0	
生徒指導	1 基本的な生活習慣の定着と個性の伸長を図る指導の推進 2 生徒・保護者への計画的な情報発信ときめ細やかな連携 3 生徒理解を深め、心の通い合う生徒指導の推進 4 生徒会活動・部活動等の活性化と主体性の推進	5 生徒指導方針を共有し、望ましい基本的な生活習慣の定着を図ることができたか	3.1	3.5	2.7	3.1
		6 自己管理能力の向上について保護者と連携し、意図的・計画的に実施することができたか	3.3		2.9	
		7 個に応じたきめ細やかな教育相談や心の通い合う指導をすることができたか	3.9		3.7	
		8 生徒会活動や部活動等で生徒の主体性を養い、活性化を図ることができたか	3.6		3.4	
進路指導	1 主体的な生き方・学び方に繋がるキャリア教育の推進 2 地域の教育力を生かした職業観、勤労観の育成 3 進路学習や進路体験の充実 4 総合的な探究の時間を通じた資質・能力の育成	9 学年に応じた主体的な生き方・学び方に繋がるキャリア教育の充実を推進することができたか	3.3	3.3	3.2	3.1
		10 地域の教育力を生かしつつ、望ましい職業観、勤労観を養うことができたか	3.3		3.0	
		11 計画的な講習、模試・検定等を活用し実力を要請することができたか	3.1		2.9	
		12 入試改革の動向をふまえた指導体制の整備や充実した進路活動の取組を適切に行うことができたか	3.4		2.8	
健康安全	1 人間性を高める教育活動 2 健康管理の習慣と危険回避の能力の育成 3 安心安全な社会づくりに貢献する態度の涵養 4 部活動・体育的活動・食事等の工夫と推進	13 自他の生命や多様な価値観を尊重する態度の育成を計画的に実施することができたか	3.3	3.2	3.3	3.2
		14 自らの心身について健康管理(感染症対策含む)や危険回避する態度・能力を養うことができたか	3.1		3.0	
		15 多様な教育活動を通して自己有用感や社会性を身に付ける態度を養うことができたか	3.3		3.0	
		16 あらゆる機会を通じて主体的に心身の健康増進を図る態度を養うことができたか	3.1		2.9	
組織運営	1 学校経営方針の理解と共有による教育活動の推進 2 施設管理の徹底と防災防犯教育の推進 3 確認・連絡・報告の徹底と業務の見える化の推進 4 創意工夫による課題改善の工夫	17 スクールミッション、ポリシーについて共通理解を深め、その具現化のための取組を推進することができたか	3.5	3.5	3.3	3.2
		18 実践的な危機管理・安全管理について組織として工夫・改善することができたか	3.8		3.2	
		19 学校の諸課題について各部署が互いに見える化を図り適切に対応することができたか	3.4		2.9	
		20 学校の諸課題に対し、不易と流行を意識し、創意工夫ある取組を行うことができたか	3.4		3.2	
いじめ対策	1 基本方針による組織的対応の充実 2 いじめを絶対に許さない信念にもとづく指導の徹底 3 適切な機器の取扱や情報モラル教育の推進 4 保護者等々の連携・協力、迅速な対応	21 「いじめ防止基本方針」にもとづき適切な組織的対応を行うことができたか	3.9	3.8	3.6	3.5
		22 早期発見の組織的取組や人格尊重の精神を育成する教育活動を推進することができたか	3.9		3.6	
		23 SNS等によるネットいじめ防止のための機器の取扱や情報モラル教育を適切に実施することができたか	3.9		3.7	
		24 いじめの問題について適切に情報提供するなど保護者等と連携して対応することができたか	3.8		3.4	
信頼される学校づくり	1 根拠と共通理解に基づいた業務の推進 2 不祥事防止のための取組の推進 3 体罰や不適切な指導の禁止 4 研修機会の設定と奨励	25 校務等の業務計画・事務処理について根拠をもって適切に対応することができたか	3.5	3.7	3.6	3.7
		26 いかなる場合も教育公務員としての自覚と服務規律を遵守し行動することができたか	3.9		4.0	
		27 生徒に対する体罰や不適切な指導(発言も含む)を厳に慎む態度で教育活動を推進することができたか	3.9		4.0	
		28 経験に応じた研修に努め、自らの資質能力の向上を図ることができたか	3.5		3.7	
今日的課題	1 カリキュラムマネジメントの実施による授業改善 2 勤務時間を意識した働き方への意識改革 3 主権者教育の充実 4 部活動基本方針を踏まえた活動の推進	29 学習指導要領の理念実現のための授業づくりをカリキュラムマネジメントにより実践することができたか	3.6	3.7	3.4	3.2
		30 勤務時間を意識した働き方へ創意工夫をこらし北海道アクションプランの実践を図ることができたか	4.0		3.6	
		31 教科指導や教育活動を通じて計画的に主権者教育の充実を図ることができたか	3.4		3.4	
		32 部活動の基本方針に基づいた適切な活動や指導に努めるよう工夫・改善することができたか	3.6		3.4	